

令和 4 年度生徒指導サポート実践校 「特別活動の取組事例」

学校名	尾道市立向島中学校	校長	本安 公範	生徒指導主事	山岡 歩未
-----	-----------	----	-------	--------	-------

取組事例名 『いじめ撲滅キャンペーン・中1小6交流会』

取組における育てたい資質・能力

人間関係形成		社会参画		自己実現	
協調性	3	主体性	1	表現力	2

取組のねらい

- ・ 普段の自分や周りの言動について意識を向けさせ、協調性や表現力を高める。
- ・ 生徒が中心となり企画運営等を行い、リーダーとしての自覚やそれぞれの役割に責任をもたせる。

取組の具体的内容	取組の創意工夫 『キーワード：主体性・協調性』
----------	----------------------------

【いじめ撲滅キャンペーン】

- ・ 生徒会が中心となり、活動の企画運営を行った。
- ・ 各クラスでいじめを撲滅するためのスローガンを考える。
- ・ スローガンをもとに、生徒一人一人が普段の学校生活で意識する言動について考える。
- ・ 各クラスでスローガンと個人で考えたことを模造紙にまとめ、校内に掲示する。



【中1小6交流会】

- ・ 地震・津波避難訓練で二次避難のため小学校へ避難した。避難訓練終了後に中学校1年生が小学校に残り、小学校6年生と「防災カードゲーム」を使って交流を行った。

※「防災カードゲーム」とは、国土交通省のHPに掲載されているものであり、災害による危険な状況について生徒児童が遊びながら防災について学ぶことができる教材である。



【いじめ撲滅キャンペーン】

- スローガンや個人の考えを目にすることで、いじめ撲滅に対する意識を高めることができるように、模造紙を校内に掲示した。
- 掲示してある模造紙は、道徳や学活の時間に教室に持ち帰り、書いた内容を再確認し、自分の言動を振り返らせた。

【中1小6交流会】

- 小学生にやり方やルールを教えて活動するためにはどうすれば良いかを事前に考えさせることで、当日は主体的に動く生徒の姿が見られた。
- 活動を通して、先輩としての在り方や関わり方について考えるきっかけとすることができた。

取組の成果と課題

成果としては、どちらの活動も生徒会が主体となり企画運営を行い、実施することができた。また、生徒会の生徒だけではなく、各学年からも多くの生徒に活躍の場をつくることができた。球技大会では、各クラスで協力して取り組む姿が多く見られた。課題としては、主体的に動ける生徒はいるが一部の生徒のみになっているので、より多くの生徒が活躍できる場を数多くつくり、たくさんの体験活動ができるようにしていく必要がある。